

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立豊浜中学校
(豊浜中学校区)

全国平均値との差 (英語については、「話すこと」調査を除く)

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	+0.2	+10.0	+0.4
令和4年度	+5.0	+14.6	—

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 <u>70%</u> 全国 <u>69.8%</u> 県 <u>70%</u></p> <p>話すこと・聞くこと 我が国の言語文化 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方</p>	<p>重点課題</p> <p>◎文章の中心的部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することに課題がある。(設問2(三))【C読むこと】(正答率 53.8%) ◇文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。(設問3(二))【(1)言葉の特徴や使い方に関する事項】(正答率 46.2%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎新聞のコラムなどを活用し、要旨を捉え、まとめる学習の場を設定する。 ◇字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得させ、漢字を正しく用いる習慣を身に付けさせる。そのため、課題としてワークブック等に取り組み、定期的に力の定着度合いを確認する。また、AI型デジタルドリル「キュビナ」を活用し、個別に力の定着を図る。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問2(三)) (第3学年 12月) 目標 70% →結果 78.6% ◇全国学力(設問3(二)) (第3学年 12月 第2学年 12月) 目標 第3・2学年 70% →結果 第3学年 85.7% 第2学年 83.3%</p>
<p>数学</p> <p>本校 <u>61%</u> 全国 <u>51%</u> 県 <u>49%</u></p> <p>数と式 図形 関数 データの活用</p>	<p>重点課題</p> <p>◎条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなる理由を、証明を振り返って読み取ることに課題がある。(設問9(2))【図形】(正答率 38.5%) ◇数と式、図形、関数、データの活用の各領域における既習の知識が十分定着していない。(設問1)【数と式】(正答率 38.5%), (設問3)【図形】(正答率 53.8%), (設問4)【関数】(正答率 38.5%), (設問5)【データの活用】(正答率 46.2%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎すでに成り立つことが証明された事柄において、条件を変えることで成り立たなくなる条件と条件を変えても成り立つ条件を、証明をふり返りながら複数の条件の中から判断する学習を設定する。 ◇AI型デジタルドリル「キュビナ」を活用し、該当学年より前の学年にもどってスパイラルに復習に取り組み、基礎的な知識の定着を図る。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問9(2)) (第3学年 12月 第2学年 2月) 目標 第3学年 60% 第2学年 60% →結果 第3学年 61.5% 第2学年 16.7% ◇全国学力の類似問題 (第3学年 12月 第2学年 2月) 目標 第3学年 80% 第2学年 80% →結果 第3学年 51.9% 第2学年 56.3%</p>
<p>英語</p> <p>本校 <u>46%</u> 全国 <u>45.6%</u> 県 <u>43%</u></p> <p>聞くこと 読むこと 書くこと 話すこと</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>	<p>重点課題</p> <p>◎日常的な話題に関する事柄について紹介したいものを取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書くことに課題がある。(設問10)【書くこと】(正答率 0%) ◇決まった文や形を使って、簡単な会話をしたり、英文を書くこと。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行う。 ◇1時間の中で英文を書く時間を設ける。学習した言語材料を使って他者とやり取りをする。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問10)の類似問題(第3学年 12月) 目標 第3学年 25% →結果 第3学年 15% ◇英文を書くテスト問題(全学年、2月)を実施し、検証する。(目標値 25%) →結果 第1学年 30% 第2学年 33% 第3学年 43%</p>

【来年度に向けて】

第3学年では一定の成果が見られたが、第1, 2学年の課題が大きい。第1, 2学年においても週末課題(活用問題)やキュビナ(AI教材)を活用した取組を継続して行い、定期的に検証しながら改善を図ることで基礎的な知識・技能と思考・判断・表現力を育成する。